

1 本校がめざす学校像

- 1 建学の精神に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導をしっかり行い、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。
- 3 各コースの教育内容を更に充実させ、落ち着いた授業のもと、生徒一人一人の個性を生かした教育を行う。
- 4 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績の向上に取り組む。

2 中期的目標（到達目標として）

- 1 コース制の更なる充実。特進共通コースにおいては、学び直しシステムの確立、転・退学生徒の減少をめざす。
- 2 特進選抜コースでは、大学進学実績の更なる充実を図る。また、特進選抜コース入学者の増加と共に、特進共通コースからの転コースを加え2クラス展開できるようにしたい。
- 3 IT総合コースでは、コースの特徴を更に強化し、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 4 環境福祉コースにおいては、現在評価されている保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。また、環境保全や福祉に対する高い意識を持った生徒を育成し、社会に貢献する力を育む。
- 5 スポーツ健康コースでは、スポーツを通じて文武両道に優れた人材を育成する。
- 6 特進総合コースは、大学進学に力を入れると共に、コース独自の特色を持たせるために検討を重ねる。
- 7 グローバル化の進展に伴い、本校の弱点である国際理解教育に取り組む。
- 8 強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 9 学校施設・設備の充実、また老朽化した校舎・トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。
- 10 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制の確立を急ぐ。

【学校教育自己診断の結果と分析】

平成28年度の学校運営自己診断（平成29年2月実施 教職員自己評価アンケートをもとに）

◎ 学校運営

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。

学習指導要領の対応状況は高評価。更に肯定率を上げたい。年度当初のシラバス作成は引き続き行う。

教員・教科間連携が低い評価である。信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。

財務関係および理事会・評議員機能については、理事会で方策を考える必要がある。

ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを、推し進める。今年度、授業公開は学校関係者にも広げて行く。また、学校の危機管理体制を、更に強化する。

◎ 教育内容

情報教育については、近い将来のICT教室の設置を見据えて、充実させて行く。人権教育の、研究体制や教育体制については抜本的に考え直す必要があるのかも知れない。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、トイレのリニューアルに伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態様の育成に努めたい。

健康・食育に関する指導については、食堂の抜本的な改革が必要な時期に来ている。

生徒会活動の活性化については、校務分掌を見直すことにより、学園祭の充実を目指したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。部活動の活性化は本校の重要な柱として位置づけている。学校として支援する体制を強化したい。

◎ 生徒指導・支援

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。更に期待に応えられる体制を整えて行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に答えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、進路指導について保護者評価が低いことの分析は必要である。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

◎ 教員研修・資質向上

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。長期休業中の教員研修の回数を増やす必要がある。

◎ 総合評価

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という体制は堅持したい。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。保護者からの要望の強かった進路の情報発信はしっかり行う。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できる

コース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。
情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、国際交流室を中心に引き続き取り組む。教員研修、教員の資質向上についても更に充実させなければならない。
本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校を目指す。また、時代の要請に応えるため、時代が求める新しい教育にも取り組んでいく。

学校関係者評価会からの意見 [平成29年4月実施分]

出席者 堺市福田校区自治連合会長
堺市西陶器校区自治連合会長
堺市東陶器校区自治連合会長
精華高等学校保護者会長
精華高等学校同窓会長
精華高等学校校長
精華高等学校教頭
精華高等学校教頭
精華高等学校事務長
精華高等学校生徒指導部長
精華高等学校進路指導部長

[校長より]

- ・今年度の進学実績について
関大、関学大、青山学院大等への進学が確定した。また一般に産近甲龍とよばれる関西の有名私学への進学を達成した生徒も出てきている。しかし、保護者からは、今以上に進学情報の提供を望む声があるため、新年度の課題としたい。
- ・日々の教育活動では、生徒に落ち着きが見られる。また新制服への移行が地域の方々により印象を与えていると考えている。大切な授業の充実をしっかりと図りたい。
- ・地域の皆様の働きかけのおかげで、堺市が通学路に歩行者線（白線）を引いてくれた。感謝するとともに、生徒の通学マナーの向上をめざしたい。
- ・学校自己評価結果説明
教職員による自己評価が、厳しい結果となった。特に「教育目標が浸透していない」「学校の社会的評価が低い」という2点が懸念事項である。進学率の向上、クラブ活動の活性化を図り対処していく。また情報（ICT）教育の遅れについては、的確に予算を計上して、社会の要求に対応したい。更に人権教育、環境教育にも不安があるため、改善する。
- ・学校施設については、引き続きトイレの改修に取り組む。評価の低い食育に関わる「学校食堂」については大きな課題として、抜本的に見直す。

[地域からの意見]

- ・学校知名度の上昇には、何かに特化した教育が必要ではないか。
- ・生徒はしっかりしてきている。挨拶や礼儀が良くなった。卒業式に出席したが、学校全体に頑張っている感じが出ている。
- ・こういった評価結果をしっかりと反映して行ってほしい。全てに対応していくことは困難であろうが、社会人になるための教育は絶対的に必要である。

◎学校自己評価から

[保護者会からの意見]

- ・学校として、非常にバランスがよい。私学として理想的な姿勢が見られる。また保護者会としては、各教員がいろいろな生徒に対応してもらっているので、安心感がある。
更に、生徒が熱中できるものに取り組んでいただきたい。教職員の質の良さは、卒業式が証明している。
- ・生徒の競争心を育てる教育に取り組んではどうか。目的意識の低い生徒が多い。保護者との協力のもと、しっかりと取り組んでほしい。

[同窓会からの意見]

- ・期待値が低い生徒や保護者の対応はどうなっているのか。
- ・教職員の外部訪問者に対する挨拶ができていない。過去に比べると良くなっているが、改善すべきである。
- ・愛校心が少ない現状をどう改善していくのか。同窓会としても課題に感じている。
- ・以前（過去）の就職率は、素晴らしかった。学校のアピールポイントになるはずである。進学だけではない学校をめざしてほしい。
- ・成績評価基準が低いのではないか。
- ・思い切って、学校名の変更に取り組んではどうか。

[学内の感想]

入学生は349名を確保したが、受験者数が著しく減少した。学園として危機感を持っている。広報活動を強化し、積極的な学校アピールを行いたい。学校の核は授業にある。授業の充実こそが、最大の学校アピールになる。コース制を充実させ、部活動を活性化して、生徒の成長に繋げたい。

学校運営計画表

	PLAN〔重点目標〕	DO〔具体的取り組み〕	CHECK〔自己評価〕	ACTION〔改善の為の方針〕
1	<p>◎ 高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>◎ 落ち着いた雰囲気の中で授業を受けさせる。</p> <p>◎ 将来を見据えたコース選択をさせ、進路決定についての意識を持たせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コース朝礼の実施 →毎週金曜日 教員が輪番にて講話を行う ・早朝学習 →計算・漢検対策・ペン習字等 ・コース行事 →4月 オリエンテーション 宿題テスト クラブ紹介 →6月 卒業生による講演会 進路選択に関する劇実施 9月 コース選択ガイダンス 2月 スポーツ大会 ・校外研修実施→漁業体験（9月） 	<p>△</p> <p>コース朝礼・コース行事、早朝学習など具体的取り組みについては、計画通り実施できた。6月・11月に行われた保護者懇談会において、授業の不成立の訴えや、授業に対する強い要望が出ている。特に非常勤講師の先生方において、その傾向が強い。夏に教室の窓の透明化工事を完了した。コース選択において、一部混乱が生じた。</p>	<p>非常勤講師の先生方を中心に、基本的な授業のあり方についての意識を啓発する。コース長と連携し、コースの問題点・課題などを整理し、コースの教育内容の充実・発展につなげる。コース選択について、説明会のあり方・内容を検討すると共に、ミス・マッチを防ぐよう教員の意識を高める。</p>
	6月および11月に実施される保護者懇談会と保護者評価アンケートの意見欄を参考にして、学校長が特進共通コース長と協議して評価する。			
2	<p>◎ 学年の枠を越え、協力体制を構築して、進学情報を共有する。</p> <p>◎ 講座を中心に1年、2年の間に受験についての必要な学習内容を習得して、3年次から入試問題を数多くこなす。</p> <p>◎ 文系科目の授業数・講座数の確保に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路講演会 →9月中旬に実施 ・大学見学会 →8月関西大学 10月立命館大学 ・コース合同テスト →英単語年間5回実施 漢字年間5回実施 ・早朝学習 →毎朝 8:20～8:40 英語・国語・コラム解説 ・勉強合宿 →8/24～8/27 兵庫県但馬方面 ・模擬試験 →1年 年間3回 2年 年間4回 3年 年間5回 ・通常講座および特別講座実施 	<p>△</p> <p>進路講演会、大学見学会、勉強合宿など具体的取り組みについては、計画通り実施できている。模擬試験は充実して来ている。外部講師の派遣は実現していない。放課後・長期休業中の進学講座を充実させるには、まだまだ課題が多い。</p>	<p>外部講師について前向きに検討しながら、進学講座を充実させる。広報を更に強化し、特進選抜コースの入学生の増加を図る。特進共通コースの生徒の大学進学意欲を高め、特進選抜コースへの転コースを促す。</p>
	6月および11月に実施される保護者懇談会と保護者評価アンケートの意見欄を参考にして、学校長が特進選抜コース長と協議して評価する。			
3	<p>自分自身が入りたいと思える魅力あるコース作りをめざす</p> <p>◎ 規律を重んじる 高校生としての自覚を持たせ、責任感を持って行動できる人物を育成する。</p> <p>◎ 専門性を高める 情報を選び、判断できる力および自ら発信できる力を育成する。</p> <p>◎ 進路保障 それぞれの進路や将来像をイメージして、より実践的な力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を取り戻し、遅刻、欠席をなくす。 ・コースの名称に恥じないルール遵守やマナーに関する教育を実施する。ネット関係トラブルの未然防止に努める。 ・コンピューターに関する資格取得率100%をめざす。 ・情報という概念について学び直し、進路決定に活かす。 ・各教科で学んだ知識と情報科で学ぶ技術を合わせ、発表する。 ・プレゼンテーションの方法を学び、コミュニケーション能力を向上させる。 ・希望者に対して、ITパスポートの資格取得に努める。 ・コース朝礼実施 →毎週木曜日 生徒によるプレゼン実施 ・早朝学習（週2回） →タイピング・一般教養 ・情報処理技能検定 3年1級 	<p>○</p> <p>IT総合コースは全体的に落ち着いたのがあるコースになって来ている。コンピューターに関する資格取得率も高まり、希望者は簿記検定にも取り組んでいる。</p>	<p>高校生としての自覚、基本的な生活習慣の確立を、更に高めるコース運営を行い、規律ある高校生活を送らせる。生徒のプレゼンテーション能力を養うため、具体的にプランを立てる。情報に関する専門教育を、更に充実し推進させる。特にコンピューターに関する資格取得率は、更に上をめざしたい。簿記検定に引き続き取り組む。</p>

		2年2級目標			
		6月および11月に実施される保護者懇談会と保護者評価アンケートの意見欄を参考にして、学校長がIT総合コース長と協議して評価する。			
4	<p>◎ 高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>◎ 各生徒の希望進路の実現に向けて積極的にサポートする。</p> <p>◎ コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、優しく思いやりのある心を育む。</p> <p>◎ 遅刻・欠席が実習先に迷惑を掛けることに繋がるので、厳しく指導する。</p>	<p>・2年生 → 保育所、幼稚園交流 介護職員初任者研修 (12月～3月)</p> <p>・3年生 → 認知症に関する講演会実施 救命救急講習会実施 テーブルマナー講習会実施 高齢者福祉施設交流 天濃池ビオトープ実習 校外発表会 介護職員初任者研修</p> <p>・コース朝礼 → 毎週水曜日実施 生徒によるプレゼン実施</p> <p>・早朝学習 → 漢字・一般常識問題</p>	○	<p>高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣の確立をめざした目標は、一定達成できた。コースの専門的な実習や指導内容は、それぞれよく考え、工夫されている。</p>	<p>地域で評価の高い、保育所・幼稚園との交流や、高齢者福祉施設での実習および交流は引き続き実施する。更に充実したコースをめざす。</p>
		6月および11月に実施される保護者懇談会と保護者評価アンケートの意見欄を参考にして、学校長が環境福祉コース長と協議して評価する。			
5	<p>◎ 常に集団行動と協調性、時間厳守を意識させる。</p> <p>◎ スポーツを通じて、自ら考え、判断し、正しく行動する力を育てる。</p> <p>◎ 教室の美化など、落ち着いた学校生活を送れるように積極的にサポートする。</p> <p>◎ 特色ある授業や体験学習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。</p> <p>◎ さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、自分の専門種目や健康の保持増進に繋げる。</p>	<p>・遅刻、欠席数が一体の基準に達した生徒については、保護者と連携して指導する。</p> <p>・6月→ 専門学校施設体験学習実施 ゴルフ実習 (光丘パブリックゴルフ)</p> <p>・7月→ 救急救命体験学習</p> <p>・9月→ 校外学習 (六甲山フィールドアスレチック)</p> <p>・10月→ 堺市小学校連合運動会補助</p> <p>・11月→ 金剛山登山</p> <p>・12月→ コース別宿泊研修 (シンガポール)</p> <p>・コース朝礼 → 毎週金曜日実施 (3年生による講話)</p>	○	<p>集団行動と協調性の大切さを意識させる、指導を行っている。ゴルフ実習や、フィールドセンターでのスポーツ実践、金剛登山などコース独自の行事で、スポーツの楽しさを学ぶことが出来た。コース講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を身に付けている。身体体力測定では補助役員を務め、集団に貢献した。また、堺市連合運動会では運営に協力し地域に貢献することが出来た。</p>	<p>コースの特性を生かした専門的な実習や指導内容は、引き続き実施する。集団行動と協調性の大切さを意識させる指導を引き続き行う。また、学校や地域に貢献する活動を通じて、生徒のボランティア意識を更に高める。</p>
		6月および11月に実施される保護者懇談会と保護者評価アンケートの意見欄を参考にして、学校長がスポーツ健康コース長と協議して評価する。			
6	<p>◎ 2年生は宿泊研修などの行事に積極的に参加することで机上の勉強だけでなく、広く国際感覚を身に付け、最上級学年へと導く。</p> <p>◎ 3年生は一人一人の個性を見極めて、希望・適性に合った進路の決定をめざす。特に大学進学への意識を高め</p>	<p>・基本的な生活習慣と学習意識の向上 → 2年生は、1年次の指導を元に更にきめ細かい指導を実施する。</p> <p>・授業最優先 → チャイムで着席を心掛け、授業時間を最大限に活かす。</p> <p>・漢検、英検の全員受験により、合格者を増加させる。</p> <p>・生徒指導面 → コース全体で取り組み、担任が抱え込む状況をつくらない。</p> <p>・教室、施設のクリーン教育 → 落書きの撲滅、ガムの吐き捨てなどを絶対に許さない。</p>	△	<p>進路講演会、早朝学習、英検・漢検の全員受験など具体的取り組みについては、計画通り実施できている。基本的な生活習慣の確立と、学習意識の向上については課題が多い。</p>	<p>コースの具体的な取り組みについては、引き続き行う。基本的な生活習慣の確立と、学習意識の向上については、コースでしっかり対策を立て取り組む。授業を充実させ、学習意識の向上をめざす。生徒が満足する進路を保障する。コースのあり方について、抜本的な検討を加える。</p>

	<p>ながら、最後まで希望進路に向けて諦めずに取り組める生徒を育み、進路先未決定者ゼロをめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コース朝礼 →毎週火曜日実施 ・早朝学習 →コラム・英単語・漢字学習 			
	<p>6月および11月に実施される保護者懇談会と保護者評価アンケートの意見欄を参考にして、学校長が特進総合コース長と協議して評価する。</p>				
7	<ul style="list-style-type: none"> ◎英語研修を成功させる ◎大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業へ参加する ◎精華版「英語村」を立ち上げる ◎来る超少子化時代を睨み、留学生を受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、フィリピン セブ島研修(7/24～7/31の8日間)を実施する ・大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課主催のプログラムがあれば、参加する。昨年度はベトナム ホーチミン市との学生交流に参加した。 ・ESS(English Speaking Society:英語研究会)のメンバーを増やし、将来的には、放課後に、A,L,T(Native Speaker)による英会話教室を開く。保護者、地域の方を対象に、土曜英会話教室を開催する。英語弁論大会、スピーチコンテストなどの外部大会出場をめざし、本校英語研修をはじめとした海外語学研修への参加を促していく。 ・「クールジャパン」の追い風に乗って海外から学習意欲の高い生徒を受け入れ、本校生徒の「やる気」を引き出す。また、ホストファミリーを希望される御家庭を募り、ホームステイプログラムを成功させる。 	×	<p>夏の語学研修は、予定人数に満たなかったため実施出来なかった。大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業は実施されなかった。ESSとしての活動は継続している。</p>	<p>夏の語学研修は、個人参加方式で実施する。大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業に参加する。ESSのメンバーを増やし、部としての活動を活発にする。海外姉妹校、また交換留学生などについて情報を集め、実施に向けて検討する。</p>
	<p>学校自己評価における「教育内容」(国際理解)の項目について、評価結果の肯定率が70%以上をめざす。</p>				
8	<ul style="list-style-type: none"> ◎強化クラブである吹奏楽部を中心に地域活動に積極的に参加して、社会貢献できる生徒を育てる。 ◎クラブ活動の活性化を実現して、生徒の満足感をサポートする。 ◎活動環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化系クラブである吹奏楽部と演劇部が切磋琢磨して、地域や社会に貢献する。 →地域文化祭への出場 演奏および公演回数の増加 ・運動系クラブが安全に安心して活動できるように、顧問相互が連携して支えていく。生徒だけの活動にならないように留意する。 ・フィールドセンター(学外)、体育館、校内グラウンド等のクラブの活動場所を点検して、事故を未然未防止する。 	△	<p>夏のオープンスクール(2回)の参加人数を増やした。吹奏楽部・インターアクトクラブ・演劇部等を中心に、地域社会に貢献している。部活動の活性化には、まだまだ課題が山積している。</p>	<p>部活動顧問手当を拡充する。また、部活動推薦生徒(専願)の本校入学数を増やすため、中学校訪問を強化し、オープンスクールにも工夫を加え、学校としての広報活動を強化する。</p>
	<p>学校自己評価における「教育内容」(部活動)の項目および保護者評価における「部活動は活発である」の項目において、評価結果の肯定率が70%以上をめざす。</p>				
9	<ul style="list-style-type: none"> ◎27年度に引き続き、校舎内の老朽化した施設の改修に取り組む。 ◎次年度以降の中期的計画を立て、促進する。 ◎改修されたトイレ・壁紙を大切に扱う意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の4階および3階のトイレ(2カ所)を改修を実施する。 ・校舎内内壁の全面張り替えを実施する。 ・校舎内の全トイレを改修計画に沿って改修していく。 ・清掃活動の際、注意しなければならない点を明確にして、担任および校内美化担当者が指導を行う。 	○	<p>校舎内壁の全面張り替えを実施した。校舎西館3・4Fの生徒トイレの改修と洋式化を終了する。生徒の美化意識の醸成を図らなければならない。</p>	<p>改修計画に従って、全トイレの改修と洋式化を進める。2年計画で外壁工事を行っていく。生徒の美化意識を高める教育を行う。</p>
	<p>学校自己評価における「教育内容」(環境教育)の項目および</p>				

	保護者評価における「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価結果の肯定率が70%以上をめざす。		
10	<p>本校の教育内容・本校の魅力を積極的に発信出来る体制の確立を急ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ホームページの充実 学校情報の広い発信を意識して本校の教育内容を伝える。 ◎ 積極的な地域交流を図る。 ◎ 授業公開の機会を設ける。 ◎ 進路に関する情報や連絡を積極的に行う。 ◎ 情報モラル教育の活性化をめざす。 	△	<p>ホームページの充実を更に図らなければならない。特に学校の様子を発信する回数が少ない。地域交流、授業公開については進んでいる。保護者に対する進路情報の発信を、もっと強化する必要がある。情報モラル教育も弱い。</p> <p>広報を増員し、ホームページの充実を図り、学校の様子をしっかりと発信していく。授業公開については、学校協議会の機会などを増やし、更に進める。</p>
	学校自己評価における「学校運営」（情報公開）の項目および保護者評価における「学校は進路に関する連絡や、情報提供を十分にしてくれている」「学校ホームページは充実している」「学校が保護者に出す文書・事務連絡は適当である」の3項目において、評価結果の肯定率が70%以上をめざす。		